

配布資料 3：2人ゼロ和ゲームにおける定義と性質

1. マックスミニ戦略

• プレイヤー 1 について

- 戦略 s_i^1 の保証水準 $\iff \min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1$
- 戦略 s_i^1 が 1 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1 = \max_{i=1, \dots, m} (\min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1)$$

- $\min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1$: 1 のマックスミニ値

• プレイヤー 2 について

- 戦略 s_j^2 の保証水準 $\iff \min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2$
- 戦略 s_j^2 が 2 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2 = \max_{j=1, \dots, n} (\min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2)$$

- $\min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2$: 2 のマックスミニ値

2. 混合戦略まで考えたマックスミニ戦略

• プレイヤー 1 について

- 戦略 p^1 の保証水準 $\iff \min_{p^2 \in \Pi^2} E^1(p^1, p^2)$
- 戦略 \hat{p}^1 が (混合戦略まで考えたときの) 1 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{p^2 \in \Pi^2} E^1(\hat{p}^1, p^2) = \max_{p^1 \in \Pi^1} (\min_{p^2 \in \Pi^2} E^1(p^1, p^2))$$

- $\min_{p^2 \in \Pi^2} E^1(\hat{p}^1, p^2)$: (混合戦略まで考えたときの) 1 のマックスミニ値

• プレイヤー 2 について

- 戦略 p^2 の保証水準 $\iff \min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, p^2)$
- 戦略 \hat{p}^2 が (混合戦略まで考えたときの) 2 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, \hat{p}^2) = \max_{p^2 \in \Pi^2} (\min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, p^2))$$

- $\min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, \hat{p}^2)$: (混合戦略まで考えたときの) 2 のマックスミニ値

3. 2人定和ゲーム

$$a_{ij}^1 + a_{ij}^2 = c \quad \forall i = 1, \dots, m, \quad \forall j = 1, \dots, n$$

- $c = 0 \Rightarrow$ ゼロ和ゲーム (定和ゲームとゼロ和ゲームは数学的に同等)
- 定和ゲームにおいては, 2 の利得 $a_{ij}^2 = c - a_{ij}^1$ ゆえ, 利得行列は 1 の利得のみで表現できる \Rightarrow 行列ゲーム
- 混合戦略まで考えた場合も $E^1(p^1, p^2) + E^2(p^1, p^2) = c$ が成り立つ

4. 定和ゲームにおけるマックスミニ戦略（ゼロ和ゲームで説明する）

- 純粋戦略の場合

- $a_{ij}^2 = -a_{ij}^1$ ゆえ, $\min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2 = -\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1$

- 従って, 戦略 s_j^2 が 2 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2 = \max_{j=1, \dots, n} (\min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2)$$

$$\iff -\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1 = -\min_{j=1, \dots, n} (\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1)$$

$$\iff \max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1 = \min_{j=1, \dots, n} (\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1)$$

⇒ (1 の利得に関する) ミニマックス戦略

- $\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1 (= -\min_{i=1, \dots, m} a_{ij}^2)$ を (1 の利得に関する) ミニマックス値という.

- 混合戦略まで考えた場合

- $a_{ij}^2 = -a_{ij}^1$ ゆえ, $\min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, p^2) = -\max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, p^2)$

- 従って, 戦略 \hat{p}^2 が (混合戦略まで考えたときの) 2 のマックスミニ戦略

$$\iff \min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, \hat{p}^2) = \max_{p^2 \in \Pi^2} (\min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, p^2))$$

$$\iff -\max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, \hat{p}^2) = -\min_{p^2 \in \Pi^2} (\max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, p^2))$$

$$\iff \max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, \hat{p}^2) = \min_{p^2 \in \Pi^2} (\max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, p^2))$$

⇒ (混合戦略まで考えたときの) ミニマックス戦略

- $\max_{p^1 \in \Pi^1} E^1(p^1, \hat{p}^2) (= -\min_{p^1 \in \Pi^1} E^2(p^1, \hat{p}^2))$ を (混合戦略まで考えたときの) ミニマックス値という.

5. マックスミニ戦略とナッシュ均衡

2人ゼロ和ゲームにおいては以下が成り立つ.

(a) $\max_{i=1, \dots, m} (\min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1) \leq \min_{j=1, \dots, n} (\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1)$

注意: 「演習ゲーム理論」 p.49 演習問題 3.1

(b) $(s_{i^*}^1, s_{j^*}^2)$ がナッシュ均衡であるとき, $s_{i^*}^1, s_{j^*}^2$ は, それぞれプレイヤー 1, 2 のマックスミニ戦略である.

証明: $(s_{i^*}^1, s_{j^*}^2)$ がナッシュ均衡であるから,

(1) $a_{i^*j^*}^1 \geq a_{ij}^1 \quad \forall i = 1, \dots, m$

(2) $a_{i^*j^*}^2 \geq a_{i^*j}^2 \quad \forall j = 1, \dots, n$

ゼロ和ゆえ, (2) は

(2') $a_{i^*j^*}^1 \leq a_{i^*j}^1 \quad \forall j = 1, \dots, n$

と書き直せる. (2') より, (3) $a_{i^*j^*}^1 = \min_{j=1, \dots, n} a_{i^*j}^1$

(1) より, (4) $a_{i^*j^*}^1 = \max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1$

また (1) より, $a_{i^*j^*}^1 \geq a_{ij}^1 \geq \min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1 \quad \forall i = 1, \dots, m$

従って (3) とあわせ, $s_{i^*}^1$ はマックスミニ戦略であり, $a_{i^*j^*}^1$ はマックスミニ値である.

同様にして, $s_{j^*}^2$ がマックスミニ戦略であり, $a_{i^*j^*}^2$ が 2 のミニマックス値であることも導かれる (証明終)

(c) $\max_{i=1, \dots, m} (\min_{j=1, \dots, n} a_{ij}^1) = \min_{j=1, \dots, n} (\max_{i=1, \dots, m} a_{ij}^1)$ であるとする. このとき, $s_{i^*}^1, s_{j^*}^2$ をそれぞれ 1, 2 のマックスミニ戦略とすれば, $(s_{i^*}^1, s_{j^*}^2)$ はナッシュ均衡である.

証明：まず， $a_{i\hat{j}}^1 \geq \min_{j=1,\dots,n} a_{i\hat{j}}^1$ ， $a_{i\hat{j}}^1 \leq \max_{i=1,\dots,m} a_{i\hat{j}}^1$ が成り立つ． s_i^1, s_j^2 が 1, 2 のマックスミニ戦略であるから，

$\max_{i=1,\dots,m}(\min_{j=1,\dots,n} a_{i\hat{j}}^1) = \min_{j=1,\dots,n}(\max_{i=1,\dots,m} a_{i\hat{j}}^1)$ より，

$\min_{j=1,\dots,n} a_{i\hat{j}}^1 = \max_{i=1,\dots,m} a_{i\hat{j}}^1$ が成り立つ．

従って，

$a_{i\hat{j}}^1 = \min_{j=1,\dots,n} a_{i\hat{j}}^1$ ， $a_{i\hat{j}}^1 = \max_{i=1,\dots,m} a_{i\hat{j}}^1$

が成り立ち， (s_i^1, s_j^2) はナッシュ均衡である．(証明終)

注意：混合戦略まで考えたときも同様．(a) は等号で成り立つ (ミニマックス定理)

6. 2人定和ゲームにおいて，混合戦略の組 $(p^{*1}, p^{*2}), (p^{**1}, p^{**2})$ がともにナッシュ均衡であるとき， $(p^{*1}, p^{**2}), (p^{**1}, p^{*2})$ もナッシュ均衡となる。

注意：「演習ゲーム理論」p.54 演習問題 3.5